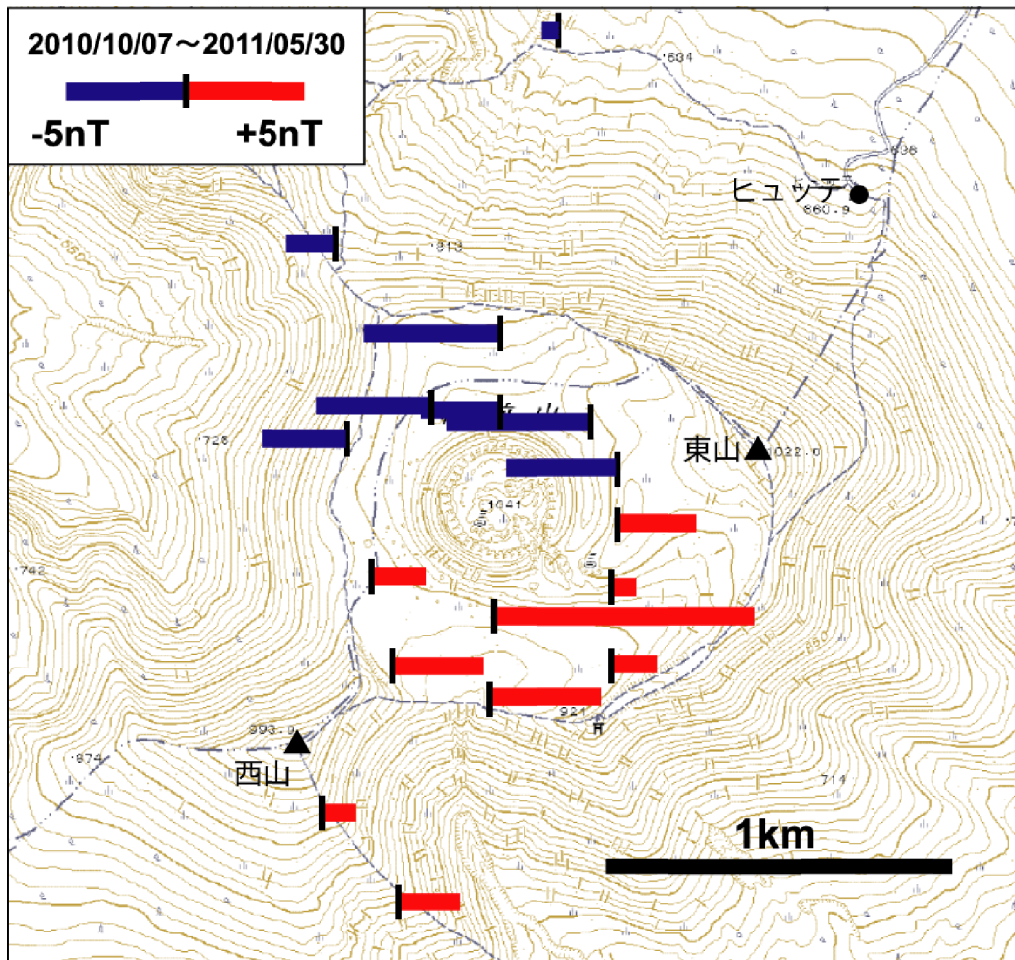


樽前山

○地磁気全磁力

2010年10月6-7日と2011年5月30日に全磁力測量を実施した。この期間に、明瞭な磁場変化が検出されたので報告する。山頂溶岩ドームの南側で全磁力増加、北側で全磁力現象のパターンが認められる。溶岩ドーム直下約500m程度の深さに置かれた磁気双極子で良く近似される変化パターンであり（詳細は未検討）、熱消帯磁モデルで解釈すれば冷却帯磁のセンスである。磁気点は従来より札幌管区気象台の機動観測で使われているもので、2010年の測量は北海道大学と気象台の共同で、2011年の測量は北海道大学により実施した。なお、参照点は北海道大学運用の有珠山MTY観測点を使用した。



(橋本・鈴木)

樽前山